

社会貢献方針の策定

シチズングループでは、企業理念として「市民に愛され市民に貢献する」を掲げ、事業活動を通じて持続可能な社会の発展へ貢献することを目指しています。また、シチズングループは、事業活動の継続には、地域社会との信頼関係の構築、更には地域の経済や文化の発展及び環境保全に寄与していくことが重要と考えています。「シチズングループ行動憲章」第8

条では「良き企業市民として、地域社会に貢献し、地域社会との共生を目指します」と謳っており、社会貢献活動の重要性については、グループ従業員の共通認識となるべく活動してきました。2019年4月、これまでの活動の意義と、シチズングループとしての取り組みの方向性を明確化するため、「シチズングループ社会貢献方針」を策定しました。

シチズングループ社会貢献方針

■ 基本方針

シチズングループは「市民に愛され市民に貢献する」を企業理念に掲げ、『シチズングループ行動憲章』第8条の「良き企業市民として、地域社会に貢献し、地域社会との共生を目指します」を基本方針として社会貢献に取り組んでいます。

■ ガイドライン

この社会貢献を推進するに当たり、下記の3つのガイドラインを設定しています。

1. 地域との協議・相互信頼を基盤とした事業活動を通じて、良き企業市民として、地域経済の発展に貢献します。
2. 地域の方々との親交、地域活性化への協力を通じ、地域社会との関係を一段と深め、柔軟かつ創造的な企業文化の醸成に努めます。
3. NPO/NGO、ボランティア団体、地域社会等とも連携しながら、社会貢献活動を行います。

■ 重点分野

社会貢献のガイドラインを基に、次の分野に重点を置いて取り組みます。

A 学習・教育 B 環境 C スポーツ D 災害支援

■ 社会貢献活動の積極的支援

従業員が社会課題と向き合う機会を提供し、自発的に参加できるようにそれらの活動を支援します。



タイの子供たちが作成したウエルカムボード

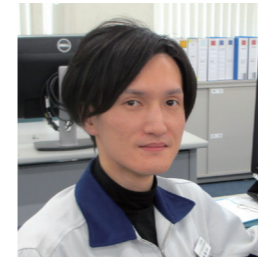
シチズン社会貢献活動派遣制度

シチズングループは創業100周年を迎えた2018年、更なる進化と発展に向け、新たな取り組み「シチズン社会貢献活動派遣制度」を開始しました。この制度は、シチズングループの従業員が国内外の各地に赴き、それぞれの地域における社会課題と向き合った支援活動を行うものです。また、本派遣制度を通じ、参加した従業員が、日常や業務から離れて視野を広げ、新たな価値観を得ることで、市民や社会に愛される製品・サービスを生み出す活動の、アイデアやエネル

ギーをシチズングループのものづくりの現場に持ち帰ることを目的としています。

制度開始初年である、2018年度には、東日本大震災で被災した宮城県やシチズンの拠点のあるタイを含め、全7地域で活動を実施し、グループ全体でのべ210名が参加しました。また、2019年5月には各地で活動に従事した代表者による成果報告会を実施しました。2019年度においても、同じく7地域において、活動実施を予定しています。

参加者の声



参加プログラム「被災地の復興支援」
(宮城県石巻市)

シチズンマシナリー 煤賀 聖史



私が社会貢献派遣制度で「被災地の復興支援」に参加した理由は、東北の仲間である秋田県出身でありながら、手を差し伸べることも出来ないうちに時が経ってしまい、後悔していることや、年齢を重ねて社会情勢に目を向ける必要性を感じるようになったからです。被災地域では、7年経った今でも仮設住宅での暮らしが余儀なくされ、内陸部・主要都市部へと人口が流出し、過疎・高齢化が深刻な状況にあります。本活動では、住民の心のオアシスであるパラ園の整備を主とした活動を行ないました。活動や寝食におけるグループ・世代を超えた協力を通じて、チーム

ワークの重要性を再認識すると共に、地域の方々との交流も行うことができ、大変良い経験となりました。また、多くの児童が亡くなられた大川小学校を見学した際には、壁や柱の倒壊・周辺に家屋が無いなどの状況から津波の脅威が窺え、様々な想いが交錯しました。

こうした活動へ割く時間は社会人になると限られますが、奉仕活動を通じて普段交流する機会の少ないシチズングループのメンバーや地域の方々と交流できるなど、有意義な時間を過ごすため、同僚にも積極的に参加を勧めたいと思います。



参加プログラム「子ども支援プロジェクト」
(タイ、コラート)

シチズン時計 親盛 愛



今回この活動に参加した理由は、学生時代から企業の社会貢献やCSR活動に興味を持っていたから、また現地の人々と実際に交流してみたいと思ったからです。

私たちが訪れたタイの農村地域コラートでは伝統的な生活様式を営む人々が多く、急速な経済発展を遂げている都市部とは、教育機会を含め大きく環境が異なります。今回の活動は、この村の子どもたちにオリジナルの時計を作ってプレゼントし時の大切さを考えてもらうこと、また異文化交流を通して視野を広げるきっかけにしてもらうことが目的でした。

この村では、腕時計は高級品のため所有できる人は少なく、子どもたちは非常にこのプロジェクトを楽しみにしていたと学校の先生たちから聞きました。実際に子どもたちが、その唯一の時計をどんなデザインにしようか、真剣に悩み一生懸命に絵を描いていた姿、また出来上がった時計を着けたときの笑顔が非常に印象的でした。

今後もシチズングループだからこそ出来る社会貢献を引き続き模索し、今回の活動で得た多くの気付きと視点をもって今後の業務に生かしていきたいと考えています。

